



「10月7日からのガザ」



- 国際メディアが去った後、現地のにわかジャーナリストが投稿
PRESS(報道関係者)を示す防弾チョッキが標的になる [Press Houseのロゴ](#)
- 爆撃で粉砕された遺体が街にごろごろ 回収と識別をどうするか
行方不明のままでは安息できない
- アル=シファー病院は、4万人が住む「ニュー・ガザ」だった テントの町が出現
病院・学校・礼拝堂・メディア・国連機関を標的にする戦争犯罪
- イスラエル兵士の自撮り投稿
イスラエルの選民思想は植民地支配のExceptionalism
- 入植地を取り戻す グシュ・カティフはガザ南部にあった入植地 2008年にシャロン首相によって強制退去 「帰還権」の取り合い

「ガザ日記」

ジェノサイドの記録

長期占領と軍事攻撃の下に
おかれた人間と社会の状況
を約3カ月にわたり記録



アーティフ・ アブー・サイフ

作家・パレスチナ
自治政府文化大臣



- 1973年 ガザ地区北部のジャバリア難民キャンプで生まれる
ヤーフアからの難民の一族（曾祖父はムフタール）
 - 1987年 第一次インティファダに参加して負傷
 - ビールゼイト大学（西岸地区）BA、ブラッドフォード大学（英国）MA、ユーロピアン大学（イタリア）PhD
 - ガザのAl-Azhar大学で教える傍ら雑誌Siyasatの編集長を務める
- 1997年以降に6本の小説を発表、他に短編集や戯曲も（アラビア語）
- 2014年のガザ侵攻の際に戦時下の日記を発表（英語、Comma Press）
 - 2019年パレスチナ自治政府の文化大臣に就任 ラマラーに転居
 - 2023年12月に『ガザ日記』発表（英語）
10月7日の攻撃開始から85日間のガザ内部の記録
What`sUpを使い英国に送信→英米の主要紙に掲載

テレビは外側からの景色を伝え 文章は内面の景色を伝える

- 占領下の絶望的な人生

「私たちは今だけに行きよのよ」 明日の計画も立てられない
一時しのぎの状態が永続化 こんなのは人生じゃない

- 75年にわたって繰り返される難民の歴史

ナクバの追体験、なぜ再びテント生活なのか？ 後ろ向きに進歩する
Chronicle of Disappearance (消滅の年代記) 存在の痕跡の抹消

- 国際社会の共犯 国際機関や報道の欺瞞

国際メディアは私たちの声をかかない 赤十字はまっ先に逃げ出した
国連は何をしてくれたというのか

- 生き残れば戦争に勝ったことになるが、本当の勝利とは解放されることだ

停戦だけでは足りない

「ほんとうの勝利とは解放されることだ」

1. パレスチナ人が人間として認識されること
70年以上にわたるネガティブキャンペーンを覆す
2. シオニズムという植民地主義思想を終了させること
シオニストが紡ぎ出すいくつかの神話を解体する

シオニズムは近代に生まれた 植民地主義

- シオニズム (Zionism) はユダヤ教 (Judaism) の否定 - シュロモ・サンド
- シオニズムの先駆はキリスト教福音派 - イラン・パペ
- Anti-Semitism (反ユダヤ主義) と Anti-Judaism (ユダヤ教徒差別) は別のも
- イスラエル批判は反ユダヤ主義ではない

“国際法によって守られた
ユダヤ人のホームランドを
パレスチナに建設する“

テオドール・ヘルツル
1897年バーゼルで
第1回シオニスト会議を開催
世界シオニスト機構の設立

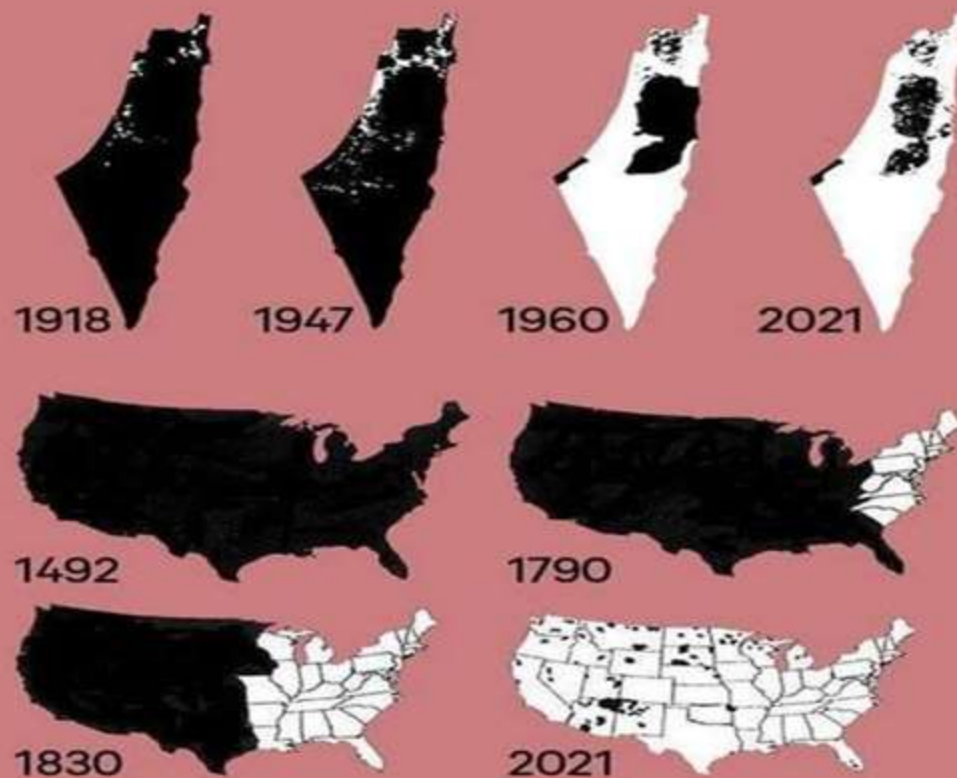
イスラエルとアメリカ合衆国の同質性

合衆国の根幹は
ピューリタン思想

旧世界の迫害を逃れて
約束の地に
新たなエルサレムを築く

City upon a hill

Native Land Dispossession



■ Land inhabited and stewarded by natives
□ Land controlled by settlers

ホロコーストの記憶の政治利用

“ホロコーストは人類史上で唯一絶対の出来事
歴史を超越している”

ユダヤ人のホロコースト体験は他との比較をいっさい許さない

国際人道法の枠組みは、
ホロコーストとジェノサイドの経験に基づいている

ホロコーストを歴史の埒外に置くことで
イスラエルも国際人道法の埒外に置かれる

ガザ攻撃をゲッソーの解体に例えたマーシャガーセンが
ハンナ・アーレント賞の受賞式をキャンセルされた時に述べた言葉



2025年1月 停戦合意の成立後
北部の自宅を目指して数十万人が徒歩で移動を開始



ガザ北部のジャバリア難民キャンプに戻った人々